

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.75

日時	2014年2月5日
行脚先	栗山町由来記
住所	兵庫県姫路市栗山町(播磨国)
行事名	

特徴

栗山村は黒田二十四騎の一人栗山善助の生誕地といわれています。
栗山公園には、かつてこの地が小高い丘で栗林だったことから「栗山」と名付けられたという地名の由来や、地名を姓として名乗った栗山善助の活躍などが記された石碑が立てられています。

黒田官兵衛との関わり

栗山利安(通称:栗山善助)は、黒田氏の筆頭家老で、黒田二十四騎、黒田八虎の1人です。黒田官兵衛の家臣として厚い信任を受け、家臣の中では序列第1位であり、一老と称されました。天文19年(1550年)、栗山村に生まれ、永禄8年(1565年)から播磨国の黒田官兵衛の側近として仕えました。
戦後、長政が筑前福岡藩に移封されると1万5,000石の所領を与えられ、息子の利章にも3300石を与えられたため、合計2万石弱の大身となりました。
福岡藩の筆頭家老となった後も万事が控えめで、道で誰かに会った際には身分に関係なく必ず馬から降りて挨拶し、決して礼を失わず、寡黙な人物だったそうです。
黒田家臣の母里友信(母里太兵衛)と義兄弟の契りを結んだと言われています。

記録

